

『令和3年度学生による授業評価結果報告』

川崎医療短期大学 FD・SD 委員会

本学では、平成21年度から学生による授業評価を組織的、継続的に実施している。授業評価の目的は、各教員が授業方法の改善点を見出すとともに、大学教育の質的向上を図ることにある。そのために、授業に関する自己点検・評価活動を継続し、FD活動を展開している。

授業評価実施科目は、履修者が5名以上のすべての科目としている。2年間で全科目を行うが、本年度は前期42科目・後期35科目をそれぞれの学期末に授業評価を受けた。調査内容は、1)学生の自己評価(4項目)、2)授業の基礎的な事項(4項目)、3)学習の推進に関する事項(3項目)、4)総合評価(2項目)の計13項目であるが、前期は5)科目のオンライン授業に関する2項目を追加した。回答は、「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」「どちらでもない」「ややそう思う」「とてもそう思う」の5段階評価とした。学生にはWeb(moodle)でアンケートに回答してもらい、自由記述による授業への意見・要望も求めた。調査結果に基づいて、各教員は科目ごとの「教員による自己点検報告書」を提出した。

以下に全体の集計結果を示す。全体平均は前期4.4、後期4.5と高い満足度が示された。

令和元年度からは、授業評価結果を学生に示し、学生参画によるFD活動を継続して実施しているが、学生から「学生の自己評価：授業外学習」の項目の点数が最も低いことに関して自己学習時間を増やす工夫や方法に関しての提案もあり、教職員によるFD・SD研修で周知し改善した結果、後期の評価では学生の授業時間外学習の評価点の上昇がみられた。

令和3年度 授業評価結果集計表

大項目	質問項目		前期	後期
I 学生の自己評価	1)	私は、シラバスの内容（到達目標、授業内容、評価方法）を理解している。	4.3	4.4
	2)	私は、この授業中、マナー（携帯電話、私語、いねむり、遅刻、早退をしない）を守った。	4.5	4.5
	3)	私は、授業に意欲的に取り組んだ。	4.5	4.5
	4)	私は、授業外学習（予習、復習を含む）をした。	3.9	4.0
II 授業の基礎的な事項	5)	教員は、授業のテーマや到達目標、内容、評価方法等を予め明確に示した。	4.5	4.6
	6)	この授業は、シラバス（到達目標、授業内容）に基づいて行われた。	4.5	4.6
	7)	教員は、時間割に沿って授業を行った（休講、変更をあまりしない）。	4.5	4.6
	8)	教員は、学生が授業に集中できる環境を整える努力をしていた。	4.4	4.6
III 学習の推進に関する事項	9)	教員は、学生が興味を持てるよう授業内容や方法を工夫していた。	4.4	4.5
	10)	教員の板書や配付資料、視聴覚機器等の教育器材の使用によって理解が深まった。	4.5	4.5
	11)	教員は、授業を適切な進度で行った。	4.5	4.5
IV 総合評価	12)	私は、シラバスで求められた到達目標をほぼ達成できた。	4.1	4.3
	13)	私は、総合的にこの授業に満足している。	4.4	4.5
V オンライン授業に関して	14)	私は、適正な時間に受講できた。	4.4	/
	15)	この科目のオンライン授業は、ポイントがわかりやすく示されていた。	4.4	/
	16)	この科目のオンライン授業の課題は、適正な量であった。	4.4	/

※前期該当科目のみオンライン授業評価を実施